



子どもの森づくり通信

NPO法人
子どもの森づくり推進ネットワーク
子森ネット・定期リリース
(2011年8月号)

〒144-0054 東京都大田区新蒲田1-10-4 tel:03-5711-0362 fax:03-5711-2264
http://www.kodomono-mori.net E-mail:info@kodomono-mori.net

「子どもの森づくり運動」とご縁をもたせていただいた方々に、活動情報をお送りさせていただいております。ご意見など賜れば幸いです。

●2011年度、新年度に入って最初の「子どもの森づくり通信」となりました。

こんなに通信発信の間隔が開いてしまった理由は二つ。一つ目は、これまでご支援いただいた方々の第二期に向けての運営体制づくりの調整に、思いがけず時間がかかったこと。二つ目は、3.11の震災以降、被災の現実に圧倒され、そんな被災地に向けて届けるに値するものを見いだせなかったこと。いずれも事務局の怠慢でした。心よりお詫び申し上げます。

●一つ目については、2011年度もこれまで同様のご支援、ご協力をいただける体制が組めました。

そして二つ目については皆様からの暖かく厳しいメッセージと支援活動の中で、活動の新しい意義を見出し、こんなときだからこそ活動を積極的に展開すべきとの結論を得ました。

●「子どもの森づくり運動」は、“木を植えて子どもの心を育む”活動です。わたしたちは、震災以降、破壊の風景ばかり見つづけてきた子どもたちにこそ、小さなどんぐりの芽が生まれ育っていく命の体験を共に提供し、少しでも子どもたちの傷ついた心を癒せればと願っております。よろしくお願ひ申し上げます。

(目次)

1. 「子どもの森づくり運動」第二期活動計画
2. 「子どもの森づくり運動」被災園支援活動報告
3. 「JP子どもの森づくり運動」全国植樹活動レポート
4. 事務局からのお願い

■「子どもの森づくり運動」とは

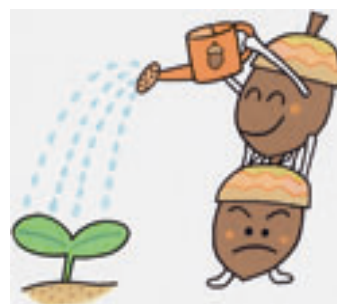
今子どもたちは、高度な情報化社会の中でバーチャルな環境に取り囲まれ、本物の自然体験活動から遠ざけられています。しかし、子どもたち(特に幼少期の)は、変化に富んだ自然体験活動の中でこそ、五感を通じて豊かな感性や健全な環境意識、そして子ども本来の生きる力を育みます。「子どもの森づくり運動」は、全国の保育園・幼稚園を拠点に一貫した森づくり活動を通じて、幼児期の子どもたちに「生きる力」と「健全な環境意識」を育むための自然体験活動と環境学習の場を提供しようという全国運動です。

■「JP子どもの森づくり運動」とは

特別ご協賛企業「日本郵政グループ」様との協働で、運動を全国に普及促進するフラグシップ活動を「JP子どもの森づくり運動」、フラグシップ活動実施園を「JP園」として活動を展開、2010年7月、フラグシップ園全国ネットワークが構築されました。

■「子どもの森づくり運動」運営体制

- ・運営 : NPO法人子どもの森づくり推進ネットワーク
- ・特別協賛 : 日本郵政グループ
- ・後援/協力 : (社)全国私立保育園連盟 (社)大谷保育協会
(社)国土緑化推進機構 NPO法人C・C・C 富良野自然塾
全国森林インストラクター会 NPO法人自然体験活動推進協議会
NPO法人MORIMORI ネットワーク (社)日本オート・キャンプ協会
(株)実業之日本社 月刊ガルヴィ編集部



1. 「子どもの森づくり運動」第二期活動計画

「子どもの森づくり運動」は、2011年度より第二期の活動に入りました。

それに先立ち、事務局では、「子森通信」(2011年2月号)において、第二期の活動計画について案を提示させていただき、皆様からのご意見を募集しました。今月号では、いただいたご意見を反映して改訂した活動計画を、あらためて提案させていただき、今後の指針として共有させていただければと思っております。今回の計画には、「東日本大震災」による被災園の支援活動を活動項目として追加させていただきました。「子森ネット」としては、今回の震災により、活動の新しいミッションを授かったと考えております。皆様のご理解とご協力をお願い申し上げます。

(1) 活動目標

- ①2010年に構築された、フラグシップ園(JP園)全国ネットワークの活性化と持続可能な活動体制づくりを目指します。
- ②2010年につづき、フラグシップ園(JP園)3年目の植樹活動をサポートし、全園の活動完遂を実現します。
- ③「東日本大震災」で被災された幼稚園・保育園を対象に、継続的な支援活動を実施します。

(2) 活動計画

事務局では、第二期の活動目標を達成するために、下記の活動サポート企画を計画中です。企画の実際については、当通信、及びホームページにて随時レポートします。まだ計画の段階の取組みもありますので、今後変更があり得ます。あらかじめご了承ください。

①ブロック別植樹フィールドづくり

全国10カ所程度のブロック別に、「子どもの森づくり運動」共用植樹フィールドを開設し、実施園に植樹フィールド選びの選択肢として情報提供します。実施園からブロック別フィールドが遠距離の場合、子どもたちに代わってスタッフが植樹を代行する場合があります。



②ホームページのリニューアル

「より分かりやすく」をテーマにホームページをリニューアルし、広報活動としての情報発信力を高めます。さらに、動画やオリジナルのデジタル絵本等、ホームページを活用した新しい普及用ツールを積極的に配信します。

③幼児期の自然環境プログラム研修会全国ツアー

各フラグシップ園と「子森ネット」との共催で、近隣の園を対象とする「子どもの森づくり運動」を含む、幼児期の自然環境プログラム研修会全国ツアーを開催し、活動の普及に務めます。

④「国際森林年」「生物多様性の10年」関連イベントへの参加

2011年は、国連が定める「国際森林年」、及び「生物多様性の10年」キックオフの年です。世界的に森林育成と環境意識涵養の気運が高まり、国内においても様々な広報イベントが予定されています。「子どもの森づくり運動」としても、普及活動として、それらの関連イベントと積極的にコラボレーションします。

2. 「子どもの森づくり運動」被災園支援活動報告

□岩手県「駒形保育園」放射能除染活動レポート

東北、及び関東エリアの幼稚園、保育園においては、「東日本大震災」以降、多かれ少なかれ放射能への対策が緊急の課題となっております。根本的な対策は、国、行政による対応を待たざるを得ませんが、育ちゆく子どもたちの日々は、待ってられません。砂場遊びなど、屋外活動の多くを規制された園児たちは体験不足によるストレスの増加など、育ち盛りの子どもの心身への影響も懸念されます。ここではそんな状況の中、「今、できること」ということで、自ら除染活動に取り組んでおられる岩手県のフラグシップ園「駒形保育園」の取り組みを、参考事例としてご紹介します。同園では、7月より毎月一回、保護者も参加して定期的に除染活動を実施されておられます。事務局も、第一回目の除染活動にオブザーバーとして参加しました。

●「駒形保育園」除染活動実施概要

- ・日 時: 2011年7月17日(日) 10:00~12:00
- ・場 所: 園敷地および隣接した公園と神社敷地(お宮の森を含む)
- ・作業内容
 - ①園敷地、及び隣接した公園、及びお宮の森の放射能線量計測
 - ②計測後、数値の高いスポットでの除染活動
- ・作業時の服装
帽子、マスク、ゴム手袋、長靴、長袖と長ズボン
※酷暑の折、暑さに対処できる範囲でご準備いただいた。
- ・準備物(個人) 草刈り釜、準備できる方はクワ
- ・準備物(園、「子森ネット」)
線量計、高圧洗浄機、スコップ、クワ、一輪車、土、ゴミ袋、ビニールヒモ、竹棒、ブルーシート、巻尺、その他
- ・参加者数: 同園職員、保護者、「子森ネット」スタッフ計15人



計測の結果、全体としては、0.1~0.2マイクロシーベルト程度の線量でしたが、一部園舎北側に、0.6マイクロシーベルトを計測したエリアが見つかり、その除染活動を集中的に実施しました。作業は、①エリアの表土を5cm程度除去し、②その上に汚染されていない土を覆土するという作業。③除去した土は、敷地のはずれに深さ50cm程度の穴を掘り、埋め、その上から汚染されていない土で覆いました。埋設場所の線量は0.15マイクロシーベルトと問題のない数値でしたが、念のためにそのエリアは、子どもたちの立ち入り禁止エリアとしました。



①表土の除去



②汚染されていない土で覆う



③除去した土を埋設

●「駒形保育園」除染活動見学会のお知らせ

「駒形保育園」では、9月の除染活動を、下記の日程で予定されておられます。

見学可とのことですので、ご興味のある方は事務局宛お問合せ下さい。詳細をご案内します。

なお、当日は「JP子どもの森づくり運動」の園庭での植樹会も実施されます。

「駒形保育園」植樹会と除染活動 2011年9月13日(火) ①植樹会: 10:00~ ②除染活動: 13:00~(予定)

3. 「JP子どもの森づくり運動」全国植樹活動レポート

・北海道札幌市「三和新琴似保育園」・日時:2010年10月15日(金)・会場:札幌市「山口緑地」



* 同園の活動レポートが、事務局の手違いで大変遅くなってしまいました。お詫び申し上げます。

4. 事務局からのお願い

①2011年秋の植樹活動、情報提供のお願い

現在、事務局担当スタッフ、及びインストラクターより、今秋の植樹活動日について、確認と調整の連絡を入れさせていただいております。秋の植樹活動を予定されておられる園で、まだ事務局との日程確認がとれていない実施園さんがいらっしゃいましたら、ご連絡いただけます様お願い申し上げます。

なお、活動サポートは、事務局、地域インストラクター及びサポーター、日本郵政グループの協働体制の中で実施させていただいております。そのため、それぞれ関係各所の日程調整等に、若干時間が必要です。今後、活動日の設定や変更は、可能な範囲で余裕を持った日程をお願いできれば幸いです。日本郵政グループの社員さんたちからは、2011年度もサポートメンバーとして、できるだけ一緒させていただきたい旨のお申し出をいただいております。

②苗木を見守る活動のお願い

既に植樹された苗木については、ひきつづき園として見守っていただければと思っております。

例えば秋の遠足の時にでも訪れて、ちょっとした苗木のお世話と共にその成長を体感されるのはいかがでしょうか。

また、先輩が植えた苗木を後輩にお披露目し代々見守る活動を引きついでもらい、やがて自立した若木の下にみんなが集まる機会が作れたら最高ですね。是非、そんな活動情報もご紹介したいと思いますのでお知らせ下さい。